

## Gyrolab® Wash Buffer pH 11

発行: 2018-08-28

文書 ID / 改定: D0026964 / C

ページ: 1

## セクション 1. 物質/製剤及び会社/企業の識別

## 1.1 製品名

Gyrolab® Wash Buffer pH 11

## 品目番号

P0020087 (1パック)

P0020096 (10パック)

1.2 物質又は混合物に関連する確認された用法と使用しないよう忠告される用途  
洗浄用洗剤。

## 1.3 安全性データシートの供給者の詳細

会社名:	ジャイロス・ジャパン株式会社
住所:	東京都中央区日本橋本石町 2-1-1 アスパ日本橋
電話:	03-3246-7441
ファックス:	03-3246-7442
メールアドレス:	infoJP@gyrosproteintech.com
製造元:	Gyros Protein Technologies AB
製造元住所:	Uppsala Science Park, SE75183 Uppsala, Sweden
製造元電話:	+46 18-566 300
製造元メールアドレス:	information@gyrosproteintech.com
ウェブサイト:	www.gyrosproteintech.com

## セクション 2. 危険有害性の識別

2.1 CLP に準拠する物質又は混合物の分類 (指示書 1272/2008/EC) : GHS05、GHS07、GHS09、危険、皮膚腐食 1B: H314 (重篤な皮膚の葉傷・眼の損傷)、STOT SE 3: H335 (呼吸器への刺激のおそれ)、水生毒性 2: H411 (長期的影響により水生生物に毒性)

## 2.2 ラベルの要素

## CLP に準拠するラベリング (指示書 1272/2008/EC)

危険有害性ピクトグラム

GHS05

GHS07

GHS09



シグナルワード

危険

# 安全性データシート

## Gyrolab® Wash Buffer pH 11

発行: 2018-08-28

文書 ID / 改定: D0026964 / C

ページ: 2

### 危険有害性説明

H314 - 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。  
H335 - 呼吸器への刺激のおそれ。  
H411 - 長期的影響により水生生物に毒性。

### 予防説明

P271 - 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
P273 - 環境への放出を避けること。  
P280 - 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
P303 + P361 + P353 - 皮膚（または髪）に付着した場合：  
直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：  
水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P501 - 内容物/容器を適切な廃棄場所に持ち込んで廃棄すること。

### その他情報

メタけい酸ナトリウム、ピロリン酸四ナトリウム、二けい酸ナトリウム、トクロセンナトリウム、二水和物を含む。

## 2.3 その他の危険有害性

本製品は PBT または vPvB 物質の基準を満たしていない。

## セクション 3.組成/成分情報

### 3.2 混合物

#### CLP に準拠する組成 (指示書 1272/2008/EC)

物質	EC 番号	登録番号	CAS 番号	%	ピクトグラム	H 語句*	カテゴリー
メタけい酸ナトリウム	229-912-9	01-2119 4498 11-37	6834-92-0	2.5-10 %	GHS05 GHS07 危険	H314 H335	皮膚腐食 1B STOT SE 3
ピロリン酸四ナトリウム	231-767-1	01-2119 4897 94-17	7722-88-5	2.5-10 %	GHS07 警告	H315 H319 H335	皮膚の刺激 2 眼の刺激 2 STOT SE 3
三リン酸五ナトリウム	231-838-7	01-2119 4304 50-54	7758-29-4	25-41 %	-	-	-
二けい酸ナトリウム	215-687-4	01-2119 4487 25-31	1344-09-8	8-15 %	GHS05 GHS07 危険	H302 H315 H318 H335	急性毒性 4 皮膚の刺激 2 眼の損傷 1 STOT SE 3
トクロセンナトリウム、二水	220-767-7	01-2119	51580-86-0	<3 %	GHS03 GHS07	H272 H302	酸素溶解性 2 急性毒性 4

Gyros, Gyrolab, Gyrolab xPlore, Bioaffy, REXXIP 及び Gyros ロゴは、Gyros Protein Technologies Group の商標である。その他の全商標は、それぞれの所有者の所有物である。Gyros Protein Technologies の製品及び技術は、1つ又は複数の特許及び/又は独自の知的財産権の対象となっている。あらゆる侵害は禁じられており、起訴されることとなる。詳細は Gyros Protein Technologies AB まで問い合わせること。製品は研究専用である。診断手順に使用してはならない。© Gyros Protein Technologies AB 2018.

# 安全性データシート

## Gyrolab® Wash Buffer pH 11

和物		4893 71-33			GHS09 危険	H319 H335 H400 H410 EUH031	眼の刺激 2 STOT SE 3 水生急性 1 水生慢性 1
----	--	---------------	--	--	-------------	--	---

\* H 語句の完全な用語に関しては、セクション 16 を参照のこと。

## セクション 4. 応急措置

### 4.1 応急措置の説明

#### 一般的な推奨事項

被害者を温かく、静かな状態に保つこと。意識のない人には絶対に口から何かを与えてはならない。不確かな場合、又は症状が続く場合には医師に相談すること。この SDS を医療支援者に見せること。

#### 吸入した場合

直ぐに医師に相談するか、毒物コントロールセンターに連絡すること。過熱や燃焼によって生じた粉塵またはヒュームを吸い込んだ場合は新鮮な空気がある場所に移動すること。呼吸が困難な場合は、酸素を与えること。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類や靴をすべて脱ぐこと/取り除くこと。再使用する場合には洗濯をすること。直ちに皮膚を石鹸と水で数分間洗うこと。直ちに医師に相談すること。

#### 眼に入った場合

流水下で眼を開けた状態で、最低 15 分間洗い流すこと（ぬるま湯）。眼を閉じず、開けていること。コンタクトレンズを着用している場合は外すこと。直ちに医師に相談すること。病院に移動するまでの間、目を洗い流し続けること。

#### 経口摂取した場合

口を水でよくすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に相談すること。

### 4.2 急性と遅延の両方の最重要な症状と影響

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。呼吸器への刺激のおそれ。

### 4.3 医学的措置及び特別な処置が直ちに必要とされる兆候

職場には緊急目薬（洗浄薬）を用意しておくこと。

## セクション 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

泡、粉末、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) または水霧。大容量の水の噴射はしないこと。

### 5.2 物質又は混合物に起因する特別な危険有害性

製品は引火性ではない。火災の際には、煙は元の成分以外に不明な毒性または刺激性の成分が含まれる場合がある。

### 5.3 消防隊員へのアドバイス

呼吸装置を含む化学火災に適した保護具を着用すること。消火剤が地下水、水路または下水道に達するのを防ぐようにすること。

## セクション 6. 偶発的流出時の措置

### 6.1 人身への注意、保護装置及び緊急時の措置

Gyros, Gyrolab, Gyrolab xPlore, Bioaffy, Rexxip 及び Gyros ロゴは、Gyros Protein Technologies Group の商標である。その他の全商標は、それぞれの所有者の所有物である。Gyros Protein Technologies の製品及び技術は、1 つ又は複数の特許及び/又は独自の知的財産権の対象となっている。あらゆる侵害は禁じられており、起訴されることとなる。詳細は Gyros Protein Technologies AB まで問い合わせること。製品は研究専用である。診断手順に使用してはならない。© Gyros Protein Technologies AB 2018.

十分な換気を確保すること。蒸気や埃を吸い込まないこと。皮膚や目に触れないようにすること。この SDS のセクション 8 に従って保護具を使用すること。

### 6.2 環境上の注意

下水/地表水や地下水に入り込まないようにすること。流出してしまった場合、緊急サービスに通知すること。

### 6.3 封じ込め及び清掃方法及び材料

漏出した物質をバーミキュライト、乾燥砂または土壌に吸収させて、ラベルが付いた容器に入れて処分すること（セクション 13 を参照のこと）。小さな流出は紙で拭き取ってもよい。汚染された区域を多量の水で灌水すること。酸で中和すること。

### 6.4 その他参照セクション

保護装置と廃棄取り扱いに関しては、本 SDS のセクション 8 及び 13 を参照のこと。

## セクション 7. 取り扱い及び保管上の注意

### 7.1 取り扱い上の注意事項

人身保護具を使用すること、セクション 8 を参照のこと。皮膚や目に触れないようにすること。粉塵やヒュームを吸い込まないようにすること。職場には緊急用目薬（洗浄薬）を用意しておくこと。職場では飲食、喫煙はしないこと。汚染された衣類はすべて脱ぐこと。休憩前と作業終了時には、手と顔を洗うこと。

### 7.2 不和合性を含む、安全な保管上の条件

密封容器内で室温で保管すること。施錠して保管すること。子どもの手の届くところに置かないこと。目の高さより上に保管しないこと。

### 7.3 特定の最終使用

この SDS のセクション 13 の EWC コードを参照のこと。

## セクション 8. 暴露防止/保護措置

### 8.1 制御パラメータ

職業上の暴露限界値（指示書 91/322/EEG、2000/39/EG 及び 2006/15/EG に準拠）

本製品に適用される数値はない。

#### PNEC

データはない。

#### DNEL

データはない。

#### 暴露制御

十分な換気を確保すること。目薬（洗浄薬）を用意しておくこと。

#### 呼吸の保護

通常は不要。十分な換気を確保すること。換気が十分に行われない恐れがある場合、または密閉空間で作業する場合は、呼吸器保護を使用すること。保護装置のさらなる詳細に関しては、供給業者にお問い合わせください。

#### 手の保護

本製品使用時には常に、手袋を着用すること。推奨される素材: ポリエチレン (PE)、タイケム SL (サラネックス)、タイヘムレスポンダー。保護装置のさらなる詳細に関しては、供給業者にお問い合わせください。

#### 眼/顔面の保護

本製品を扱う際には、側部が保護された安全眼鏡又はゴーグルを使用すること。

## 皮膚の保護

作業着。

## 衛生措置

職場では飲食、喫煙はしないこと。汚染された衣類はすべて脱ぐこと。休憩前と作業終了時には、手と顔を洗うこと。職場には緊急用目薬（洗浄薬）を用意しておくこと。

## セクション 9. 物理的データと化学的性質

### 9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

(a) 外観	固体。白い顆粒
(b) 臭い	やや特有の臭い
(c) 悪臭の閾値	利用可能な情報はない
(d) pH	11（水溶液）
(e) 融点/凝固点	利用可能な情報はない
(f) 初期沸点と沸騰範囲	利用可能な情報はない
(g) 引火点	利用可能な情報はない
(h) 蒸発速度	利用可能な情報はない
(i) 可燃性 (気体、固体)	なし
(j) 上限/下限可燃性又は爆発性	なし
(k) 蒸気圧	なし
(l) 蒸気密度	利用可能な情報はない
(m) 相対密度（水=1）	利用可能な情報はない
(n) 溶解度	利用可能な情報はない
(o) 分配係数：n-オクタノール/水	なし
(p) 自然発火温度	なし
(q) 分解温度	なし
(r) 粘度	利用可能な情報はない
(s) 爆発特性	なし
(t) 酸化特性	なし
(x) pH 11 への希釈	水 1 リットルに 10g

### 9.2 その他情報

-

## セクション 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

通常取り扱い及び保管条件下では安定である。

### 10.2 化学安定性

通常取り扱い及び保管条件下では安定である。

### 10.3 危険有害性反応の可能性

通常取り扱い及び保管条件下では安定である。

### 10.4 避けるべき条件

極端な温度。

### 10.5 不適合性（避けるべき物質）

強酸との接触は避けること。

## 10.6 危険有害性分解生成物

火災の際には、炭素の酸化物を含むヒュームが発生する可能性がある。

# セクション 11. 毒物学的情報

## 11.1 毒物学的影響の情報

	急性の影響	慢性の影響
皮膚に付着した場合	火傷をもたらす。	治癒が遅い創を引き起こすおそれ。
眼に入った場合	火傷をもたらす。	永久的な眼の損傷や失明をもたらすおそれ。
吸入	呼吸器への刺激のおそれ。	-
摂取	火傷をもたらす。	口腔と喉に火傷をもたらすおそれ。

### 急性毒性

#### 現状製品の毒物学的データ

LD<sub>50</sub> 経口、ラット: >5000 mg/kg 体重 (急性毒性なし)

#### 含有される成分の毒物学的データ

##### メタケイ酸ナトリウム

ウサギの皮膚に 250 mg/24h は非常な刺激 (mod.Draize)。

##### ピロリン酸四ナトリウム

LD<sub>50</sub> 経口、ラット: 4000 mg/kg 体重 (急性毒性なし)

##### メタケイ酸ナトリウム

LD<sub>50</sub> 経口、ラット: 3100 mg/kg 体重 (急性毒性なし)

LD<sub>50</sub> ウサギの皮膚: 2900 mg/kg 体重 (急性毒性なし)

##### 水和フィロシリケート

LD<sub>50</sub> 経口、ラット: 1960 mg/kg 体重 (有害、限界ケース)

LD<sub>50</sub> ウサギの皮膚: >4640 mg/kg 体重 (急性毒性なし)

ウサギの眼に 10 mg/24h は非常な刺激 (mod.Draize)。

ウサギの皮膚に 500 mg/24h は非常な刺激 (mod.Draize)。

##### トクロセンナトリウム、二水和物

LD<sub>50</sub> 経口、ラット: 1400 mg/kg 体重 (有害)

LD<sub>50</sub> ウサギの皮膚: >5000 mg/kg 体重 (急性毒性なし)

#### (a) 急性毒性

急性毒性は知られていない。

#### (b) 皮膚腐食/刺激

腐食火傷をもたらす。

#### (c) 重篤な眼の薬傷/刺激

永久的な眼の損傷や失明をもたらすおそれ。

#### (d) 呼吸器感作又は皮膚感作

感作性の影響は知られていない。

#### (e) 生殖細胞変異原性

変異原性は知られていない。

#### (f) 発癌性

発癌性は知られていない。

#### (g) 生殖毒性

# 安全性データシート

## Gyrolab® Wash Buffer pH 11

生殖毒性は知られていない。

### (h) STOT-単回暴露

呼吸器への刺激のおそれ。

### (i) STOT-複数回暴露

影響は知られていない。

### (j) 吸引危険有害性

吸引の危険は知られていない。

### 相互作用の影響

相互作用の影響は知られていない。

### 不足データ

詳細については、化学物質安全性評価（CSA）を参照のこと。

## セクション 12.環境情報

### 12.1 - 毒性

水生環境に有害であると分類されている。長期的影響により水生生物に毒性。

#### 現状製品の環境データ

データはない。

#### 含有される成分の環境データ

##### メタケイ酸ナトリウム

LC<sub>50</sub> 魚 96h: 210 mg/l 種: ゼブラフィッシュ（急性毒性なし）

生体内蓄積: Log P<sub>ow</sub>: <0（生体内蓄積なし）

##### ピロリン酸四ナトリウム

LC<sub>50</sub> 魚 96h: 1380 mg/l（種: カダヤシ）（急性毒性なし）

EC<sub>50</sub> ミジンコ 48h: 391 mg/l（種: ミジンコ）（急性毒性なし）

##### メタケイ酸ナトリウム

LC<sub>50</sub> 魚 96h: 500 mg/l（種: ニジマス）（急性毒性なし）

EC<sub>50</sub> ミジンコ 48h: >100 mg/l（種: ミジンコ）（急性毒性なし）

IC<sub>50</sub> 藻類 72h: 160 mg/l（種: イカダモ）（急性毒性なし）

##### 水和フィロシリケート

LC<sub>50</sub> 魚 96h: 1800 mg/l（種: カダヤシ）（急性毒性なし）

EC<sub>50</sub> ミジンコ 48h: 494 mg/l（種: ミジンコ）（急性毒性なし）

##### トクロセンナトリウム、脱水

EC<sub>50</sub> ミジンコ 48h: 0,05 mg/l（非常に有毒）内蓄積: BCF: 1,95（生体内蓄積なし）

### 12.2 持続性と分解性

データはない。

### 12.3 生体内蓄積の可能性

データはない。

### 12.4 土壌と水中の移動性

データはない。

### 12.5 PBT 及び vPvB 評価の結果

データはない。

### 12.6 その他の副作用

製品の pH が高いため、水生環境に局所的な有害な影響を及ぼすことがある。

# 安全性データシート

## Gyrolab® Wash Buffer pH 11

### 概要

製品は環境リスク有害性に分類されている。長期的影響により水生生物に毒性。製品の pH が高いため、水生環境に局所的な有害な影響を及ぼすことがある。製品が地下水、水路、下水道に達しないようにすること。詳細については、化学物質安全性評価 (CSA) を参照のこと。

## セクション 13. 廃棄上の注意

### 過剰/未使用製品からの廃棄

未使用製品は指令 2000/532/EC に規定される有害廃棄物である。

提案される EWC コード:

20 01 29 - 危険物質を含む洗剤

### 廃棄物

廃棄物は有害廃棄物とは考えられないが、国内及び地域の規制に従って処理しなければならない。

### 廃棄物処理方法

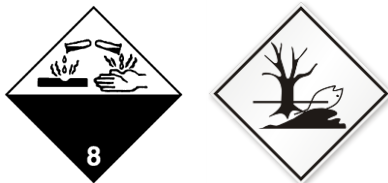
有害廃棄物であり、国内及び地域の規制に従って処理しなければならない。

### 汚染された梱包材

汚染された梱包材は有害廃棄物と考えられ、国内及び地域の規制に従って処理しなければならない。

## セクション 14. 輸送情報

ADR/RID/IMO/DGR に準拠して危険な製品には分類されている。



### 14.1 UN 番号

UN 3262

### 14.2 出荷名

腐食性固体、N.O.S. (メタケイ酸ナトリウム)

トンネル制限コード: (E)

EmS: F-A, S-B

### 14.3 クラス

8

### 14.4 梱包グループ

III

#### 14.4.1 数量限定

最大 5 l (1 パッケージにつき) かつ最大 30 kg。

### 14.5 環境上のリスク

長期的影響により水生生物に毒性。製品の pH が高いため、水生環境に局所的な有害な影響を及ぼすことがある。



# 安全性データシート

## Gyrolab® Wash Buffer pH 11

発行: 2018-08-28

文書 ID / 改定: D0026964 / C

### 14.6 特別な安全措置

-

### 14.7 Marpol (マーポル) 附属書 II 73/78 及び IBC コードによる一括輸送

本製品は一括にて処理しないこと。本製品は IMDG コードに準拠して梱包されること。

## セクション 15.規制情報

### 15.1 安全、健康、環境に関する規制/物質又は混合物に関する法律

CLP (指令 1272/2008/EC 及び指令 453/2010/EC、付録 I) に準拠した安全性データシート及び分類。  
化学安全性評価

製品には、化学安全性評価 (CSA) がある (スウェーデン語)。

## セクション 16.その他情報

### H セクション 3 の語句を平易なテキストで

H272 - 火災助長のおそれ; 酸化性物質。

H302 - 飲み込むと有害。

H314 - 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。

H315 - 皮膚刺激。

H318 - 重篤な眼の損傷。

H319 - 強い眼刺激。

H335 - 呼吸器への刺激のおそれ。

H400 - 水生生物に強い毒性。

H410 - 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。

EUH031 - 酸と接触すると、有毒なガスを発生させる。

### 略語の説明

-

### 参考文献とデータ出典

出典については、化学物質安全性評価 (CSA) を参照のこと。

### 改定の際の変更

バージョン A (2016-11-23): 第 1 版

バージョン B (2017-11-01): ™から ®へ変更

バージョン C (2018-08-24): 製品の分類が変更され、複数のセクションにこの変更を反映済み。  
セクションの見出しを変更。

### その他

現在の安全性データシートは、Gyros AB により、発行日の製品の知識に基づいて定義されている。

以下はオペレーターの義務である:

- このフォームからのデータを考慮に入れて、製品の動作に関する安全性への配慮を自分の責任で行うこと。
- すべてのユーザー及びオペレーターに、製品の使用と関連して文書に記載されているリスクに関する適切な安全性データ及び警告を通達すること。
- 製品が設計されたもの以外の用途に使用されるときに直面する可能性のあるリスクに注意すること。

本 SDS は、スウェーデン、ソルナ市の Amasis Konsult AB 社の支援を受けて作成された。